

令和5年度  
ゲノム創薬基盤推進研究事業  
公募説明会  
追加Q & A 集

## ◆ 採択条件について（公募説明資料16、18、20、22ページ）

Q 11. C-3及びC-4 に関して、「遺伝性疾患（発がんに大きく寄与するものは除く）」とあるが、ウェルナー症候群やブルーム症候群など希少性の早老症例は対象に含まれるか？  
ただし、上記例は悪性腫瘍との合併率も高い特徴があるので、判断をいただきたい。

A 11. 発がんに大きく寄与する遺伝性疾患（例えば、BRCA1/2変異による遺伝性乳癌・卵巣癌症候群、MLH1/MSH2変異によるリンチ症候群、APC変異による家族性大腸ポリポシス等）は、対象外となります。一方、今回のウェルナー症候群やブルーム症候群のように、がんの合併が相対的に多いと言われるものの部分的であるような遺伝性疾患は対象となります。それ故、ウェルナー症候群やブルーム症候群は今回の公募の対象となります。

## ◆ 提案書の作成方法について（公募説明資料28ページ）

Q 12. 提案書の中に、下記のとおり、記載方法が掲げられているが、具体的にご教示願いたい。

- 4ページ目：必要に応じて図や表を用いてA4用紙3ページ程度で記載してください（本ページを含む）
- 6ページ目：必要に応じて図や表を用いて、A4用紙3ページ程度で記載してください。
- 8ページ目：1項目あたりA4用紙1ページ程度で記載して下さい。

A 12. 下記のとおり、整理させていただきますので、ご確認ください。

- 4ページ目：必要に応じて図や表を用いてA4用紙3ページ程度で記載してください（本ページを含む）

1. 研究目的 ← 下記の項目を含めて、A4用紙3ページ程度

- (1) 研究目的
- (2) 研究開発の意義、波及効果
- (3) 独創性・新規性・優位性
- (4) 臨床応用や企業導出等の出口戦略

- 6ページ目：必要に応じて図や表を用いて、A4用紙3ページ程度で記載してください。

2. 研究計画・方法

(2) 研究計画・方法

【全体計画】 ← 下記の項目を含めて、A4用紙3ページ程度

令和5年度：

令和6年度

令和7年度

- 1) 目標とする解析規模及び手法
- 2) 解析規模及び手法の妥当性（科学的根拠を含めて記載）

- 8ページ目：1項目あたりA4用紙1ページ程度で記載して下さい。

【研究開発項目別 概要】

(1) 研究開発項目名： ← 下記の項目を含めて、A4用紙1ページ程度

- 1 研究開発担当
- 2 実施内容

(2) 必要に応じて追加の研究開発項目名を追加： ← 下記の項目を含めて、A4用紙1ページ程度

- ① 研究開発担当
- ② 実施内容

(3) 同上： ← A4用紙1ページ程度